

論文問題冊子

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、2題で90分です。試験問題1～6のうち、2題を選択してください。
3. 経営システム科学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題3, 4(経営システム科学分野)の中から1題は選択してください。
4. 会計学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題5, 6(会計学分野)の中から1題は選択してください。
5. 試験問題についての質問は、受けつけません。
6. 試験開始後ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号と、問題番号記入欄に問題番号を誤記のないように記入してください(氏名は記入しないでください)。受験番号や問題番号が記入されていないと、その解答用紙の成績が0点になる場合があります。
7. 解答用紙1枚につき、1題解答してください。1枚の解答用紙に複数の問題を解答した場合、無効になる場合があります。また、解答用紙には裏面もありますが、1題につき、解答用紙1枚で収めるようにしてください。
8. 解答は、日本語で行ってください。
9. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

2023年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 1

製品ライフサイクル説（導入期・成長期・成熟期・衰退期）について、各期に見られる企業の戦略的特徴を、具体的事例（商品・企業）を挙げて説明しなさい。

2023年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 2

モチベーション理論のひとつである期待理論 (Expectancy theory) について、以下の問いに答えなさい。

(1) 仕事に対する従業員のモチベーションに影響を及ぼす要因として、期待理論が想定する 3 つの変数とその定義を示しなさい (その際に「努力」、「業績」、「報酬」という 3 つの単語を必ず用いること)。そのうえで、仕事に対する従業員のモチベーションの強さは、それらの変数によってどのように説明できるか、期待理論の考え方を説明しなさい。

(2) 期待理論によると、仕事に対する従業員のモチベーションを高めるために、どのような経営管理上の施策を行う必要があるか。期待理論の考え方との関連を示しながら、複数の施策について説明しなさい。

2023年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 3

以下の2問すべてについて解答せよ。

1. 歪みのないコインを N 回投げたときに表の出る回数の割合が0.4以上0.6以下となる確率が0.9以上になるための N の条件を、チェビシェフ不等式を用いて求めなさい。

2. ある観賞用植物は、栽培から1年後の植物の高さが、平均7.6cm、標準偏差1.2cmの正規分布に従うと言われている。この植物を実際に栽培し、栽培から1年後に、無作為に25株を選んで高さを調べたところ、その平均値は8.1cmであった。この植物の栽培から1年後の高さの平均は7.6cmより大きいと言えるだろうか。有意水準5%で検定しなさい。ただし、標準正規分布の上側5%点を1.645とする。

2023年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 4

以下の概念や用語について簡潔に説明せよ。

- (1) 2つの確率変数の独立性
- (2) 最小分散不偏推定量
- (3) 検定力 (検出力)
- (4) 自由度調整済み決定係数

2023年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 5

- (1) 事業部制を説明しなさい。
- (2) 事業部を責任センターのインベストメント・センターとして捉えた場合、業績評価尺度として投資利益率 (Return on Investment, ROI) を活用することが典型である。ROI は事業部の投資効率の良否を判断するために用いられる。しかし ROI には、事業部長の業績評価において生じる欠点があると言われている。この欠点を指摘しなさい。また、デュボン・チャートシステムによると、ROI は最初に2つの要素へ分解することができる。これら2つの要素をそれぞれ説明しなさい。

2023年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 6

次の(1)及び(2)について答えなさい。

- (1) 繰延資産の意義について説明しなさい。
- (2) 資産負債を中心とする利益観のもとでの、繰延資産の扱いについて説明しなさい。